



## 斜陽の帰雁

幕府の海軍の学校、軍艦教授所、に通ってオランダ語の航海数学の勉強をしていた19歳の新島襄の見事な写本の一頁。海上から山の高さを測る数式につけた図。南面風の山と精緻な大型帆船、これに海面に沈む夕陽と一群の雁を描き添え、題して「斜陽之帰雁」。一幅の絵になっている。新島は勉強のかたわら、よく得意の面才を発揮して楽しんだ。(鳥尾永康) (P. 92)に関連記事)